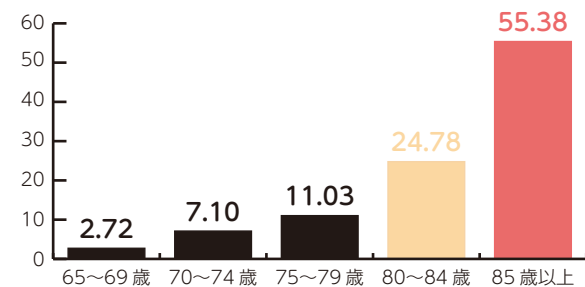


糸満市の年齢階層別にみた介護認定者率 (%)



糸満市の年齢階層別の介護認定割合を集計したグラフも見てみて。75歳から79歳では1割ほどだった介護認定者率が、80歳から84歳では2倍以上に増えて、85歳以上では半数以上が介護認定者になっているよ。80歳を過ぎてから増えることが分かるね。

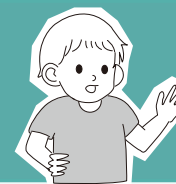


後期高齢者が増えるなか、介護職などの人手が足りるか心配だな…。僕は卒業したら県外の大学に行きたいし、先輩たちも卒業後は都市部に行く人が多い気がするけど、糸満市に戻ってくる若い人はどのくらいかな。



そういえば、おじいちゃんとおばあちゃんが、糸満市の介護保険料が高いかもって話していたけど、実際はどうなんだろう？

糸満市の令和6年度から8年度の介護保険料は、基準額(月額)7,287円で、県内と全国で比較すると、県内の上から2番目、全国でも上から40番目に高い保険料なんだよ。



全国でも高い保険料なんだね！これだけ高いと、支払った分だけ介護サービスを使わないと損している気がするな…。

1月あたりの所得の低い世帯(個人)の自己負担限度額

15,000円

1年間自己負担限度額を使った場合

15,000円 × 12カ月 = 180,000円

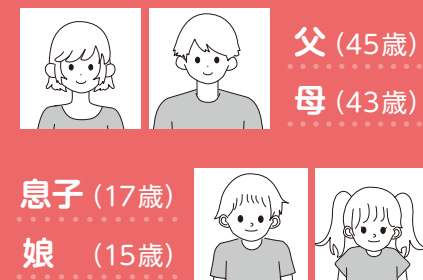


それは違うよ。介護サービスを利用するには、その提供者が必要になるけど、これからは働く世代が減っていく時代だから、本当に介護サービスを必要な人が利用できなくなる可能性がある。それに、介護サービスは自己負担があるから、「使うこと＝お得」にはならないし、使う人が多くなると、その分、保険料も上がっていくよ。



これから働く世代が減っていくことや、これだけの自己負担があることを考えると、おじいちゃん・おばあちゃんにはずっと元気で、好きな趣味や旅行にお金を使えた方がお得かもしれないね！

糸満市内のファミリー

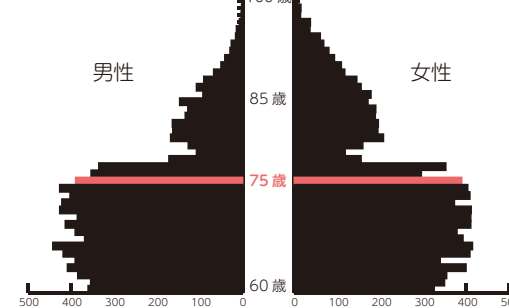


2025年は「団塊の世代」といわれる昭和22年から24年生まれの皆さんが75歳以上となることで、国民のおよそ5人に1人が後期高齢者になると言われています。このような中、すべての世代の人々が「超高齢社会」を構成する一員として、将来に向けて考える事が大切です。糸満市の一家庭のやりとりから、これからの糸満市を皆さんと一緒にイメージしてみましよう。



社会問題となっている超高齢化、2025年は人数の多い世代が75歳以上に到達していると言われていたけど、糸満市ではどうなっているのかな？

令和7年2月末時点
糸満市人口ピラミッド
(60歳以上抜粋)



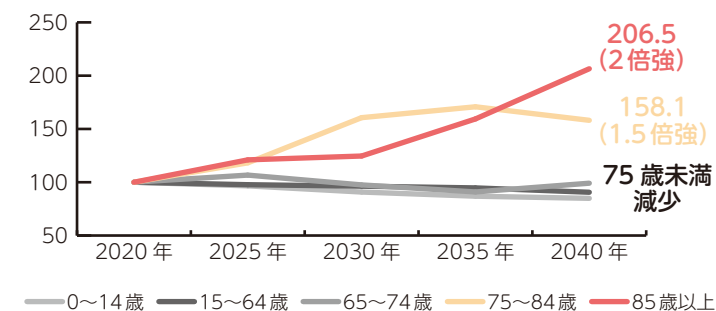
糸満市の状況は、人口ピラミッドを見ると確認できるよ。人口の多い団塊の世代と呼ばれる人たちが75歳に到達していく状況が分かるね。



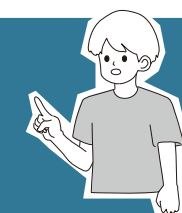
ちなみに…75歳以上は10年間で1,300人以上増加しているよ！人口ピラミッドからは、団塊の世代から下の世代も人口のボリュームがあることが確認できるね。

糸満市の将来推計人口

(出典：国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」)
(2020年を100とした2040年までの年齢階層別人口推計値)



超高齢社会は、これから本番だ。糸満市の将来推計人口を見てごらん。



2020年と比べて2040年には、総人口と75歳未満年齢人口が減少することに対して、85歳以上と75歳から84歳年齢人口はそれぞれ2倍、1.5倍に増えることが予想されているよ。

沖縄県以外は2030年から2035年がピークって聞いたことがあったけど、このグラフを見てみると、沖縄県は2040年以降がピークになりそうだね。



沖縄県と全国の将来推計人口(75歳以上の人口)
(出典：国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」)
(2020年を100とした2040年までの75歳以上人口推計値)

